

# 第12分科会

公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構主催

## キャリアアップ研修（分野5，8）

キャリアアップ研修の充実のために文科省より新しく示された

分野についての研修を実施する

ディレクター名 村手 敦（九品寺幼稚園）

司会者名 青木 洋子（南長野幼稚園）

助言者名 〔午前〕河合 優子

（文部科学省 初等中等教育局

幼児教育課 幼児教育調査官）

〔午後〕小出 彰宏

（文部科学省 初等中等教育局

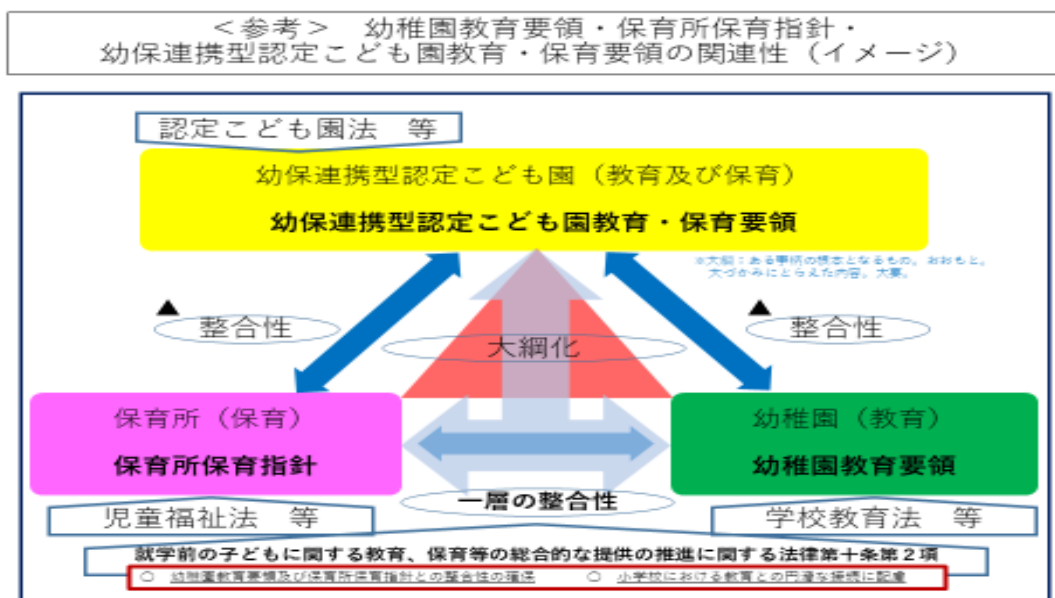
健康教育・食育課 健康教育調査官）

分科会担当責任者名 上田 香（希望幼稚園）

会場 富山県民会館3F 304号室

参加人数 99名

## 話題提供 幼稚園におけるカリキュラムマネジメント



### ◎ 『幼児教育の基本』

・『環境を通して行う教育』…環境の中に教育的価値を含ませながら、幼児が自ら興味や関心をもって環境に取り組み、試行錯誤を経て、環境へのふさわしい関わり方を身に付けていくことを意図した教育である。

・教師は幼児の主体的な活動が確保されるよう幼児一人一人の行動の理解と予想に基づき、幼児と人やものとの関わりが重要であることを踏まえ、幼児一人一人の活動面に応じて、様々な役割を果たし、その活動を豊かにしなければならない。

### ◎ 『幼児理解』

・「幼児を理解する」とは、一人一人の幼児と直接に触れ合いながら、幼児の言動や表情から、思いや考えなどを理解しかつ受け止め、その幼児のよさや可能性を理解しようとすることである。

・「保育における評価」とは、保育の中で幼児の姿がどのように変容しているかを捉えながら、そのような姿が生み出されてきた様々な状況について適切かどうかを検討して、保育をよりよいものに改善するための手掛かりを求めることである。

### ◎ 『教師間の協力体制』

・協力体制として、「教師同士の密な連絡」、「園内研修」、「教師同士の開かれた関係」が大事である。実践の中核と園運営の一翼を担うミドルリーダーを中心に、幼稚園教諭・保育教諭の専門的な成長が求められている。

## 話題提供 「学校環境衛生基準」の理論と実践

- ・学校保健安全法とは、学校における児童生徒等及び職員の健康の保持増進を図るため、学校における保健管理に必要な事項を定め、児童生徒等の安全の確保が図られるよう、学校における安全管理に関し、必要な事項を定めたもの。
- ・環境衛生検査のほか、日常的な点検を行い、環境衛生の維持、改善を図らなければならない。

### 学校環境衛生基準の考え方

検査項目	基準
(1) 換気 (2) 温度 (3) 相対湿度 (5) 気流 (7) 二酸化窒素 (10) 照度 (12) 騒音	「～であることが望ましい」 →周囲の環境等に影響されやすい数値であり、概ねその基準を遵守することが望ましいとされているもの。
(4) 浮遊粉じん (6) 一酸化炭素 (8) 揮発性有機化合物 (9) ダニ又はダニアレルゲン (11) まぶしさ	「～であること」 →この数値を超えると児童生徒等の健康への影響が大きいと考えられるもの。守られるべき値として示している。

 文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY, JAPAN

・環境衛生は、子どもに症状が出ていないから問題はないと言える訳ではない。衛生は、目で見えている問題だけではないので、専門的な知識を持っており、適格な検査ができる学校薬剤師が必要なのである。

#### ◎助言者まとめ

- ・薬剤師の中でも、学校環境衛生検査ができる学校薬剤師しか検査ができないので人手不足に繋がっている。人材育成にも力を入れていきたい。
- ・チェックリストの中で、当てはまらないものは省略できる。
- ・学校環境衛生活動は、日常点検を行う事が大事であるので、マニュアルを参考に、各園で適切な環境の維持又は改善を図って欲しい。
- ・学校薬剤師は、幼稚園の衛生管理を行う良きパートナーである。

#### ◎薬剤師にできること

- ・快適で安全な教育環境に関する指導・助言
- ・インフルエンザやノロウイルスなどの感染症の予防に関する指導・助言（環境の維持管理、消毒方法、嘔吐物の処理や手洗い方法など）
- ・水遊びやプールでの感染症の予防に関する指導・助言
- ・調理器具や食器の清潔さや食材管理等に関する指導・助言
- ・医薬品に関する指導・助言